世界市民教育プロジェクト　社会・環境意識部門

社会の現象を「科学」する

-東アジアにおける心理学研究-

京都大学教育学研究科
世界市民教育プロジェクト　社会・環境意識部門
講師　　パク・ジュナ
D2　　林 尭親
M2　　郷田 寛二

1. 社会・環境意識教育とは

- われわれは、このグローバル社会において、適応及びウェルビーイングに影響を及ぼすダイナミックな課題に直面しています
- 本部門は、気候変動や社会問題に対する認識の変化といったグローバルな課題を検討し、これらの課題が引き起こす不安に対処するための心理的適応やウェルビーイングの向上に資する戦略の開発を目指します
- また、東アジアの伝統的価値観や文化的要因といった視点を取り入れることで、これらが教育実践や個人・集団の適応プロセスに与える影響についても探求します
- このような研究活動により、教育現場における革新的な指導法やカリキュラムの開発と連携し、学習者が環境及び社会問題に対する批判的かつ多角的な視点を養い、他分野の専門家とも協働しながら、社会における持続可能な変革に寄与することを目指します

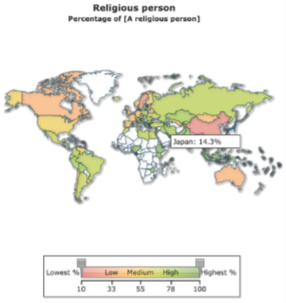
2. 社会・環境意識教育の研究方法について

テーマ1：日本の宗教性

日本は宗教的でない？もしそうなら、なぜ？

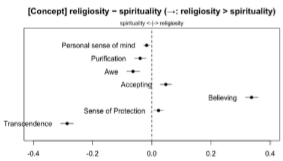
背景：

- 世界的な調査では、世界の国々に比べて日本が宗教的でないという結果があります（右図）
- 一方で、他の調査では調査に参加した人の約7割がお墓参り・お供えをしていたり、64%の人が神様や見えない存在を信じているという事こともわかっています
- こうした宗教性に関する矛盾は、宗教そのものの定義と調査の方法（e.g., 質問の項目）に起因するものではないでしょうか？



方法①：「宗教」定義の再分析

- 先行研究の知見
  - 社会学・宗教学などの先行研究によると、「宗教」＝教義や儀礼があり組織立っているもの
  - 「宗教的でない」＝「合理的・理性的」という社会的判断
- 自然言語処理での解析
  - 一口に宗教・宗教性といっても異なる側面を指すことから、これらを混同した質問紙の有用性に疑問が残る（下図）

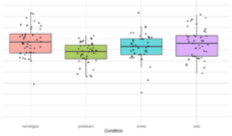


方法②：宗教質問紙の再検討

- 日本の宗教性をただしく測定できているかを検証するために北米で開発された宗教コミットメント尺度の日本語版を作り、他の概念との関連を見る
- 結果
  - 日本では宗教の２つの側面「信念」と「実践」の関連が弱い
  - この傾向は特にキリスト教プロテスタント信者より仏教禅宗において顕著
  - 宗教的であることと幸せであることの関連も欧米に比べると弱く、特に禅宗や無宗教者では顕著

方法③：思考形式との関連を検討

- 先行研究の知見
  - 物事の「非一貫性・可変性」などを許容する「弁証法的」価値観は東アジアで顕著であり、これは仏教や儒教の影響
- 本実験
  - 一貫して変わらない教義を持つプロテスタントと空や無常間を重要視する曹洞宗の信仰者を対象
  - プロテスタントに比べて曹洞宗の信仰者は自らを移ろいやすい存在であると考える傾向が高く、思考のフレームワークと宗教への信仰の関連性が示唆された（下図）

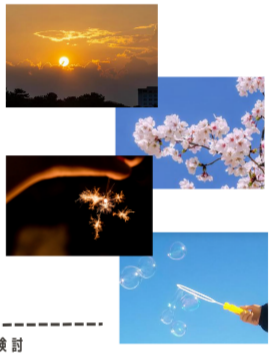


テーマ2：儚さ（はかなさ）

儚さってどんな感情？日本人だけが感じるの？

背景：

- 儚さは「すぐに消えてしまうもの」や「壊れやすいもの」に対して感じる「美しさ」や「悲しさ」などが混ざった複雑な感情です
- 私たち日本人にとって儚さは「桜」や「花火」などを通して感じられる身近な概念ですが、海外の方達にとってはどうなのでしょうか？
- もし儚さの感じ方に文化的な違いがあるとしたら、それは様々な人生の経験や幸せにどのような違いを生むでしょうか？



方法①：花の開花期間の違いが美しさの評価に与える影響の検討

- この研究では儚いものとして代表的な「花」を題材に、花の開花期間と写真を同時に参加者に提示し、美しさの評価を行ってもらうことで、より儚い（開花期間が短い）花の方がより美しく評価されるのでは？という仮説を検証しました

結果：

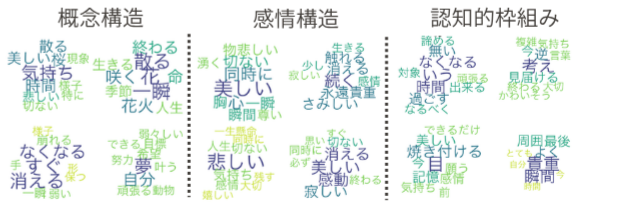
- 開花期間の短さと美しさの評価には特に関連は見られなかった
- 「時間の短さ」だけで儚さの特徴を説明するのは難しそうだとわかった

方法②：儚さの「概念構造」「感情構造」「認知的枠組み」の解明

- 儚さは心理学にとって新しい概念で、ほとんど研究されてきませんでした。また方法①の研究でも、儚さは想定していたよりももっと複雑な概念であることが予想されました
- この研究では、「人々が何を儚いと感じ」「儚いとはどのような感情で」「儚さを感じたときに何を考えるのか」を、構造的トピックモデリングという手法を用いて検討しました
- また、様々な心理的な特徴や状態を測定する「心理尺度」をつかって、儚さとWell-Being（幸福）の関連についても調べました

結果：

- 儚さの概念的・感情的・認知的特徴が示された（例：下図）。
- 儚さの認識の違いが、幸福度に関連する様々な心理的特徴と関係があることがわかった



3. 活動報告

●「より良い社会へ」リリースイベント

- 心理学における研究と実践の相関や社会貢献、ウェルビーイングの推進について
- Kuba Krys 准教授 (Polish Academy of Sciences, Poland)による「より良い社会へ」国際報告書（the 2nd edition of the Social Development Report）の発表
- Yoshihisa Kashima 教授: The University of Melbourne, Australia、Espen Røysamb 教授: University of Oslo, Norwayとのディスカッション
  - ウェルビーイングの研究に関する討論
  - ウェルビーイングの二つの側面の関係と、社会の発展や個人の価値観・文化的価値観によって、「意味がある人生」の定義や社会に及ぼすインパクトが異なってくる可能性について

●Joshanloo教授による講演会

Exploring Cultural Perspectives on Well-Being

- 文化におけるウェルビーイング概念の多様性を理解するための統合的枠組みの提示
- ウェルビーイングの文化差が現れる四つの主要な次元―快楽主義対徳倫理主義、自己高揚対自己超越、独立性対相互依存、脱文脈化対文脈化―を強調
- 西洋の個人主義社会と非西洋の集団主義文化の事例を用い、真正性（authenticity）や調和（harmony）といった理想がいかにして異なるウェルビーイングの道筋を形成するかを提示
- ウェルビーイングの心理学理論に多様な文化的視座を組み込む重要性

●韓国・浦項工科大学環境工学科での講義

- 心理学から見る環境問題：東アジアにおける課題と可能性
- 気候変動や環境意識に関する心理学的視点を紹介
- 東アジア文化圏に見られる社会的・文化的要因の環境に配慮した行動への影響

WEBサイトはこちら

参考文献

- Haerpfer, C., Inglehart, R., Moreno, A., Welzel, C., Kizilova, K., Diez-Medrano J., M. Lagos, P. Norris, E. Ponarin & B. Puranen (eds.). 2022. World Values Survey: Round Seven – Country-Pooled Datafile Version 6.0. Madrid, Spain & Vienna, Austria: JD Systems Institute & WVSA Secretariat. doi:10.14281/18241.24
- Roberts, M. E., Stewart, B. M., & Tingley, D. (2019). stm: An R Package for Structural Topic Models. Journal of Statistical Software, 91(2), 1–40. https://doi.org/10.18637/jss.v091.i02